

<監督およびコーチの申請について>

- ① インハイ予選申込ファイルのシートにある顧問名一覧をインハイ予選申込と同時に提出してください。提出方法はファイルを電子メールにてお送り下さい。
- ② 個人戦は、①にて提出した顧問（複数可）であれば監督およびコーチとして登録したことになります。
- ③ 学校対抗戦は、申し込みに申請した監督・コーチと当日になって替わるときには試合開始前に変更届を本部席まで提出してください。

コーチは外部コーチを含めて1名のみです。2名以上のコーチはできません。

- ④ 個人戦、学校対抗戦ともに①で提出した顧問については外部コーチ登録申請は不要です。
- ⑤ 年度途中にて①の一覧表に追加をする場合は、事務局まで新たに申請してください。
- ⑥ 監督およびコーチについては下記の団体を通じて日本バドミントン協会に登録することが望ましいとなっています。ただし、近畿大会・全国大会出場の学校の監督は下記の関係所属を通じて日本協会に必ず登録しなければならないとなっています。

京都府実業団連盟・京都府社会人連盟・京都府レディース連盟・京都教職員連盟
京都府学生連盟・舞鶴市協会・福知山市協会・亀岡市協会・長岡京市協会・宇治市協会
京都市協会・向日市協会・城陽市協会・小学生連盟・京都府協会非選手登録
社会人クラブ連盟
(他府県において同等の団体も可)

<外部コーチについて>

外部コーチとは学校外部の人物のことで、必ず各市町協会や各連盟を通じて日本協会に登録済みとし、大会ごとに申し込みと同時に申請が必要です。

基本的な考えは、「競技区域内に学校関係者以外の人物は入れない」ということです。ただし、事前に申請があった場合は「その人物は競技区域内に入ってもよろしい」ということです。よって、学校関係者の登録も事前に申請が必要です。

競技区域内には日本バドミントン協会から発行された登録番号を持った選手や監督しか入れません。しかし、各学校の顧問の先生が全員登録番号を持つことは不可能です。よって、学校関係者は事前に申請があれば、登録番号がなくても競技区域内に入れることを京都府では許可をしています。したがって、外部コーチはどここの所属から登録番号を取得したかの明記が必要となります。

個人戦においては、コートが複数あることから、何名申請しても構いません。学校対抗においては、基本的に1コートで試合をするので、コーチは1名のみ申請が可です。大会当日のコーチ変更は「外部コーチへの変更」が不可となっています。したがって、申込時には申請と同時にファイルのコーチ記入欄に外部コーチの名前を記載しておく必要があります。外部コーチの申請をしても、申込ファイルのコーチ記入欄に記載がなければ、その人物は無効となります。